

# 樂美術館事業報告要旨

平成 28 年度

期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

## I 美術館活動事業

### 1. 作品・資料公開活用に関して

#### (1) 展覧会活動

- 1) 春期特別展 樂歴代～長次郎と14人の吉左衛門～
- 2) 夏期展 親子で見る展覧会 シリーズ 樂ってなんだろう 樂茶碗、誕生。
- 3) 秋期特別展 重要文化財指定記念 三代 樂 道入・ノンカウ展
- 4) 冬期展 茶のために生まれた「樂」という、うつわ展。
- 5) 春期特別展 茶碗の結ぶ「縁」

#### (2) 手にふれる美術館活動

- 1) 手にふれる樂茶碗鑑賞会
- 2) 特別鑑賞茶会
- 3) 親子でお茶一服
- 4) 親子で見る展覧会 解説とワークショップ

#### (3) 他機関との協力活動

- 1) 他の美術館・博物館との協力事業
- 2) その他の機関・団体との協力事業

### 2. 保存・修復に関して

- 1) 襖の修復を行った。
- 2) 水指の修復を行った。
- 3) 箱の作成を行った。

### 3. 作品・資料収集に関して

- 1) 新規購入作品5点を基本財産に繰り入れた。
- 2) 8点の作品寄贈を受け基本財産に繰り入れた。

## II 研究・資料図書公開事業

- 1) 歴代解説小冊子はじめ研究図書資料を前年度に引き続き公開、販売した。
- 2) 『三代道入・ノンコウ』を再販出版した。
- 3) 『樂ってなんだろう』第11版を発行した。

## III 学校・社会教育事業

### (1) 小・中・高等学校への協力活動

- 1) 「親子でお茶一服」を開催した。
- 2) 研修授業・修学旅行学習等への協力をした。
- 3) 京都府高等学校総合文化祭で講演を行った。

### (2) 大学、各種学校のゼミ、研究会への協力活動

### (3) 地域社会への文化事業協力、社会教育活動

I 美術館活動事業 1. 作品・資料公開活用に関して (1) 展覧会活動

28 年度

館展示事業

展示事業 1 春期特別展 樂歴代～長次郎と14人の吉左衛門～ 平成28年3月12日～6月26日

樂家・樂焼の歴史は千利休と1人の陶工、長次郎との出会いから始まる。長次郎を初代とし、現在で14人目の吉左衛門。各歴代がそれぞれの時代を生き、決して踏襲することなく己の世界を築きあげてきた。各々の時代の中での創造性に視線をあてた展示をおこなった。

展示事業 2 夏期展 親子で見る展覧会 シリーズ 樂ってなんだろう 平成28年7月2日～8月28日  
樂茶碗、誕生。

樂茶碗がどのように生み出されるのかに注目し、その誕生の歴史のみならず制作過程なども交え、子供だけではなく、一般の方にも分かりやすい解説で展観。壊れた内窯のほか、轆や土、炭といった実際に使用する窯道具も展示し、この企画ならではの展覧会となった。

展示事業 3 秋期特別展 重要文化財指定記念 三代 樂 道入・ノンカウ展 平成28年9月10日～11月27日

今春、三代道入作黒樂茶碗「青山」が重要文化財に指定されたことを記念し、道入作赤樂茶碗「鶴」（三井記念美術館蔵）と共にこの2つの重要文化財を展示。装飾性を削ぎ落とした長次郎と、モダンな表現を持ち込んだ道入の比較や、光悦の創造精神から影響を受け、独自の表現を確立した作陶の軌跡など、道入作品を一堂に展観し、様々な視点から鑑賞していただいた。

展示事業 4 冬期展 茶のために生まれた「樂」という、うつわ展。 平成28年12月3日～平成29年2月26日

日本には様々な陶器の産地があり、それぞれ固有の焼き方でうつわを作っている。その中でも、「樂焼」は極めて特殊な陶器。茶を飲むための「うつわ」＝「茶碗」から、茶懐石にも使われる食のための「うつわ」＝「皿」「向付」「菓子器」「食籠」といった作品に焦点を当て、その広がりにも迫った。

展示事業 5 春期特別展 茶碗の結ぶ「縁」 平成29年3月4日～6月25日

千家と樂家の今日まで続く「縁」は、千利休が初代長次郎にもたらした。その後の本阿弥光悦との出会いも、徳川将軍家や前田家などの有力大名と縁をつなげ、引き合わせるなど大きな意味を持った。千家お家元の手造茶碗を始め、本阿弥光悦や徳川治寶侯の作品、15代吉左衛門と萩焼15代坂倉新兵衛氏がコラボレーションした茶碗など、樂家における様々な「縁」ある作品を紹介した。

## I 美術館活動事業 1. 作品資料公開活用に関して (2) 手にふれる美術館活動

### 1. 手にふれる樂茶碗鑑賞会

当館所蔵の作品を手に触れて鑑賞する。当館所蔵作品は、茶碗をはじめとした茶の湯工芸品である。館付属の小間茶室で茶の湯道具組を再現、その後広間に移動し、作品を手にとって鑑賞。作品の解説、質疑応答を行う。

開催期日

定例 毎月1回開催(但し、8月は休会) 11回実施

特別開催を2度実施した。

### 2. 特別鑑賞茶会

当館所蔵作品を用いての茶会形式による作品鑑賞会。館長による作品解説、質疑応答を行う。

開催期日 (9回実施)

平成28年4月17日(日)、5月15日(日)、6月12日(日)、7月10日(日)、9月18日(日)、10月16日(日)、12月18日(日)、平成29年2月11日(土・祝)、3月20日(月・祝)

### 3. 親子でお茶一服

副館長樂扶二子が小中学生の親子を対象に特別鑑賞茶会を行い、小間での空間体験、広間での茶の湯体験を指導解説した。実際に古い樂茶碗でお茶をいただく体験に、子供も親も興味津々。緊張しながらも、熱心に質問をしていた。

開催期日

平成28年5月4日(水・祝) 参加者 保護者 9名、小学生 7名、中学生 2名  
平成29年3月5日(日) 参加者 保護者 18名、小学生 13名、中学生 2名、幼児4名

### 4. 親子で見る展覧会 解説とワークショップ

館長樂吉左衛門が子供達に樂焼解説をし、黒窯制作ビデオを鑑賞。その後、子供達は実際に轆を吹いたり、火鉢を使って内窯から茶碗を取り出したりするなどして窯道具に触れた。粘土で手捏ねの茶碗も制作し、制作後は各々の作品について館長樂吉左衛門が解説した。遊び感覚の中で子供の自発的な観察力を発揮させるよう工夫を凝らした。子供達からは活発な質問も多く見られ、盛会であった。

開催期日

平成28年8月13日(土) 参加者 保護者 24名、小学生 13名、中学生 6名

### Ⅲ 学校・社会教育事業 1. 小・中・高等学校関係

協力事業 1 夏期展 親子で見る展覧会 シリーズ 会場 樂美術館  
樂ってなんだろう 樂茶碗、誕生。 日時 平成28年7月2日～8月28日

小学生にも理解できるように解り易く樂焼の歴史、特色を解説。特に茶碗の焼成方法に触れる内容で構成、手に触れる展示も行った。

#### 協力事業 2 研修授業・修学旅行学習として

- ・宮城県の中学校（修学旅行） 生徒5名 平成28年4月26日  
「春期特別展 樂歴代～長次郎と14人の吉左衛門～」を鑑賞した。
- ・天理市立南中学校（進路学習） 生徒6名 平成28年5月31日  
「春期特別展 樂歴代～長次郎と14人の吉左衛門～」を鑑賞後、学芸員へ仕事に関するインタビューを行う。仕事をする大変さや、やりがいを感じ取り、また、社会人としてのマナーや礼儀についての練習も兼ねる。
- ・大分県佐伯市鶴谷中学校（修学旅行） 生徒6名 平成28年9月14日  
「秋期特別展 重要文化財指定記念 三代 樂 道入・ノンカウ展」、黒窯制作ビデオを鑑賞後、予め生徒の用意した樂焼や茶の湯に関する質問に学芸員が答えた。

#### 協力事業 3 京都府高等学校総合文化祭

会場 京都光華高校光風館講堂  
日程 平成28年8月6日  
主催 京都府高等学校文化連盟（茶道専門部）

館長樂吉左衛門が講演を行い、京都府内の高校茶道部の生徒約230名が参加した。

### Ⅲ 学校・社会教育事業 2. 大学・各種学校関係

- ・同志社大学 日本語・日本文化教育センター 中国人留学生4名 教員1名 平成28年5月15日  
「春期特別展 樂歴代～長次郎と14人の吉左衛門～」を鑑賞後、館長樂吉左衛門がインタビューに  
対応した。
- ・京都造形芸術大学 通信教育部 和の伝統文化コース 授業名：伝統文化Ⅱ 学外授業  
学生35名 教員1名 アシスタント1名 平成28年11月5日  
学芸員が解説をし、黒窯制作ビデオ上映。その後「秋期特別展 重要文化財指定記念  
三代 樂 道入・ノンカウ展」を鑑賞した。
- ・京都造形芸術大学 学生25名 教員1名 平成28年11月13日  
黒窯制作ビデオ上映。その後「秋期特別展 重要文化財指定記念 三代 樂 道入・ノンカウ展」  
を鑑賞した。
- ・同志社大学 AKP同志社留学センター 授業名：茶道とその道具  
留学生13名 教員3名 平成28年11月16日  
英語版黒窯制作ビデオ上映後「秋期特別展 重要文化財指定記念 三代 樂 道入・ノンカウ展」  
を鑑賞した。
- ・京都女子大学 生活造形科 学生11名 教員1名 平成28年11月26日  
学芸員が解説をし、黒窯制作ビデオ上映。その後「秋期特別展 重要文化財指定記念  
三代 樂 道入・ノンカウ展」を鑑賞した。

#### (館外活動)

- ・京都大学 エグゼクティブ・リーダーシップ・プログラムにて講義 平成28年10月15日  
会場：京都大学 橘会館 学生11名 スタッフ3名 職員1名  
館長樂吉左衛門がパワーポイントを用いて「樂茶碗はなぜ黒いのか - 茶碗から見る日本文化の  
くくり」というテーマで講義を行った。講義後は樂美術館に移動し、黒窯制作ビデオを観た後  
「秋期特別展 重要文化財指定記念 三代 樂 道入・ノンカウ展」を鑑賞した。

### III 学校・社会教育事業 3. 地域・他団体関係

- 社会教育事業 1** 日本陶磁協会設立70周年記念講演会  
 会場 東京美術倶楽部  
 日程 平成28年5月20日  
 事業主体 公益財団法人 日本陶磁協会  
 内容 第一部「長次郎と茶碗について」、第二部「長次郎と歴代の作風」というテーマで館長樂吉左衛門が講演を行い、各回250名の合計500名が参加した。また、同日開催の茶陶名品展に15代樂吉左衛門作 黒樂茶碗「三星在隅」を出品した。
- 社会教育事業 2** 多治見市小中学校長会 研修旅行  
 会場 樂美術館  
 日程 平成28年8月6日  
 事業主体 多治見市小中学校長会  
 内容 副館長樂扶二子が樂焼、樂家についての解説を行い、黒窯制作ビデオを上映。その後「親子で見る展覧会 シリーズ樂ってなんだろう 樂茶碗、誕生。」を鑑賞した。参加者14名
- 社会教育事業 3** 「日本の京都」研究会 京都見学会  
 会場 樂美術館  
 日程 平成28年9月10日  
 事業主体 京都市総合企画局 総合政策室  
 内容 館長樂吉左衛門が展覧会や樂焼についての解説を行い、黒窯制作ビデオを上映。その後「秋期特別展 重要文化財指定記念 三代 樂 道入・ノンカウ展」を鑑賞した。参加者25名
- 社会教育事業 4** JIA建築セミナー  
 会場 樂美術館  
 日程 平成29年1月22日  
 事業主体 日本建築家協会  
 内容 館長樂吉左衛門が展覧会や樂焼についての解説を行い、黒窯制作ビデオを上映。その後「冬期展 茶のために生まれた「樂」という、うつわ展。」を鑑賞。参加者33名
- 社会教育事業 5** 京都金属工芸協同組合見学会  
 会場 樂美術館  
 日程 平成29年2月3日  
 事業主体 京都金属工芸協同組合  
 内容 館長樂吉左衛門が展覧会や樂焼についての解説を行い、黒窯制作ビデオを上映。その後「冬期展 茶のために生まれた「樂」という、うつわ展。」を鑑賞。参加者33名
- 社会教育事業 6** 日仏会館見学会  
 会場 樂美術館  
 日程 平成29年3月4日  
 事業主体 日仏会館  
 内容 館長樂吉左衛門が展覧会や樂焼についての解説を行い、黒窯制作ビデオを上映。その後「春期特別展 茶碗の結ぶ「縁」」を鑑賞。参加者27名